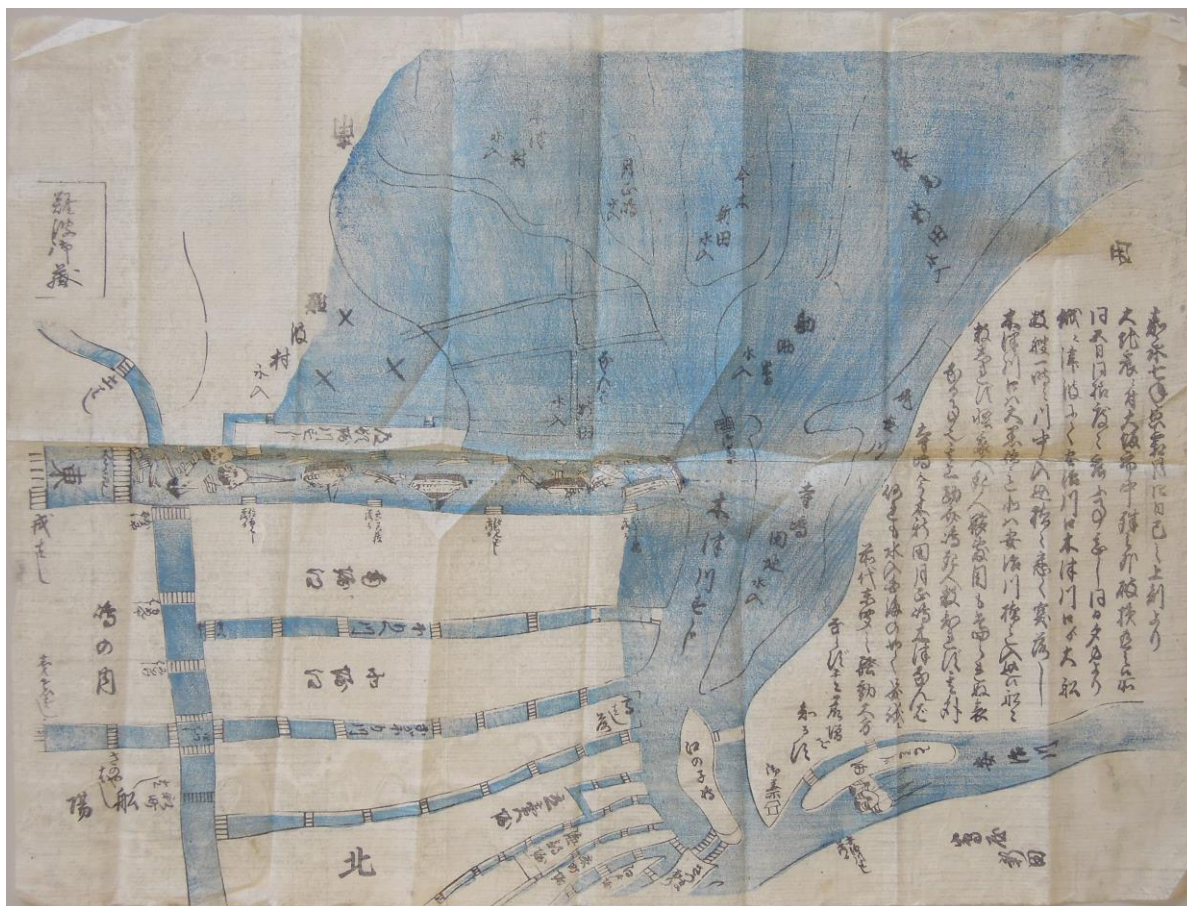


嘉永 7 (1854) 年 11 月 4~5 日 発生

森島國男家文書 C2313



安政南海地震では、震源の太平洋から大津波が押し寄せ、紀伊半島・大阪湾などを襲いました。有名な「稲むらの火」は、この大津波が紀伊国（現在の和歌山県）を襲った際の逸話です。地震発生から約 2 時間後、大坂の街に津波（1.6~1.9 メートル）が到来し、激しい被害に見舞われました。

この瓦版は大坂の津波被害の状況を描いた絵図で、上が南、下が北です。海岸に近い低地はことごとく浸水しています。



大地震両川口津浪記石碑

大阪市浪速区 安政 2 (1855) 年 7 月 建立

嘉永 7 (1854) 年 11 月の安政南海地震で発生した大津波による犠牲者の供養塔。後ろは京セラドーム大阪。

乗り上げて停止するというありさまでした。

